

琉球・沖縄 年中行事 Q&A

旧盆のウークイを開始する時間



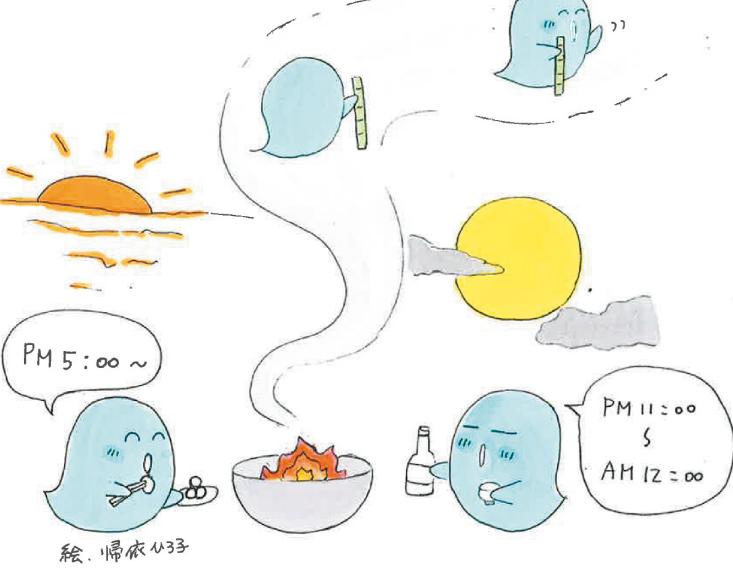
●Answer
沖縄市・コザ山 仁王院 球陽寺
(コザ本願寺)
前住職 帰依 龍照

Q 旧盆のウークイのとき、おじいは「午後11時くらいから始めて、次の日にまたげなさい」といいます。お祖さんたちは「午後5時くらいから始めて、最早に終わらせたい」といいます。開始時間は、どのように決めたらよいのでしょうか? (東村・Nさん・40代・女性)

世界に共通して、数字を基準にして儀式・法要を行うことが多くあります。沖縄も例外ではなく、3・6・7などの倍数を重んじる文化があるといいます。有名なものでは、ヒラウコウを使用するときに3の倍数を重んじる「サンボンウコウ(3本)」「タヒラ(12本)」「タヒラハン(15本)」などがあり、ご法事では6の倍数を重んじるため、故人様へ朝・昼・夕のウジン(お膳)料理をお供えする時間は、朝食が午前6時、

昼食は正午(12時)、夕食は午後6時(18時)となります。お葬式の後のナンカ・シチビ(七日)では、7の倍数を重んじますので、「ハチナンカ(7日)」「グナソウカ(35日)」「シンジュウクニチ(49日)」などとなります。

このように、3・6・7などの倍数を重んじる文化のことを、沖縄のしきたりに詳しいユタ・ウサギヤ・サンジンソウなどの先生方は、前述の事例を参考にしつつ、「3は奇数・6は1日(朝・昼・夕)・7はグソーを表す」などとおっしゃいます。



A 旧盆のウークイ(送り盆)を開始する時間は、沖縄県民にとって永遠のテーマですよね。諸説の中から、数字に重きを置き、ご一緒に考えていきましょう。

3・6・7などの倍数を重んじる文化

沖縄のしきたりでは、「ウークイは夜(夕)がよい」とされており、おじいさんの「真夜中の時間」とおばさんの「夕食の時間」は、いずれも理にかなっています。

今回のご回答としまして

ウークイを行なうとき、真夜中の午前0時前後や夕方の午後6時前後を選択する方々が多いというのは、このような理由があるからではないかといわれています。

ウークイを行なうとき、真夜中の午前0時前後や夕方の午後6時前後を選択する方々が多いというのは、このように少人数でソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用にてウークイを開始する配慮が必要かと思います。そういった意味では、おばさんたちがおつしやる「午後5時くらい」からの早めの開始に切り替えて行なうことも良案かとご拝察いたします。

昼食は正午(12時)、夕食は午後6時(18時)となりますが。お葬式の後のナンカ・シチビ(七日)では、7の倍数を重んじますので、「ハチナンカ(7日)」「グナソウカ(35日)」「シンジュウクニチ(49日)」などとなります。

このように、3・6・7などの倍数を重んじる文化のことを、沖縄のしきたりに詳しいユタ・ウサギヤ・サンジンソウなどの先生方は、前述の事例を参考にしつつ、「3は奇数・6は1日(朝・昼・夕)・7はグソーを表す」などとおっしゃいます。

ウークイを行なうとき、真夜中の午前0時前後や夕方の午後6時前後を選択する方々が多いというのは、このように少人数でソーシャルディスタンスを保ち、マスク着用にてウークイを開始する配慮が必要かと思います。そういった意味では、おばさんたちがおつしやる「午後5時くらい」からの早めの開始に切り替えて行なうことも良案かとご拝察いたします。

帰依 龍照(きえ りゅうしょう)

1968年、岡山県出身(53歳)/学歴:岡山大学大学院博士課程単位取得・中央仏教学院研究科卒/専門分野:哲学(宗教哲学)/沖縄県宗教研究会・理事長/FMコザ・ラジオパーソナリティ/新刊『琉球・沖縄の仏教・浄土真宗 実践講座④・⑤「琉球・沖縄の仏壇・墓 百科事典(上巻・下巻)』~葬式・法事・年中行事の作法・心得 ハンドブック①・②~』令和4(2022)年7月発売予定

【質問をお寄せください】年中行事やしきたりに関して、日々から疑問に思っていることや、質問をお寄せください。随時、紙面で紹介する予定です。「かふう編集室 年中行事Q & A係」郵送、FAX、メールで受付。宛先は15面をご覧ください。